



プレスリリース
報道関係者各位

2017年10月11日
CYBERDYNE 株式会社

ロボットスーツ HAL®による歩行機能向上促進プログラムのお知らせ
～神奈川県内の脊損受傷小中高生に「歩く」ことへの意欲増進の機会を提供～

CYBERDYNE 株式会社（代表取締役社長 山海嘉之、以下「当社」）は、2016年11月に締結した AIG ジャパン・ホールディングス株式会社（代表取締役社長兼 CEO ロバート L. ノディン、以下「AIG ジャパン」）との業務提携に基づいて、脊髄に障害を持つ神奈川県内の小中高生 50 名を対象に、当社のロボットスーツ HAL®を活用した歩行機能向上促進の機会を無償で提供することになりましたのでお知らせいたします。本プログラムは、AIG ジャパンが、社会貢献の一環として、その費用を拠出することにより実現するものです。

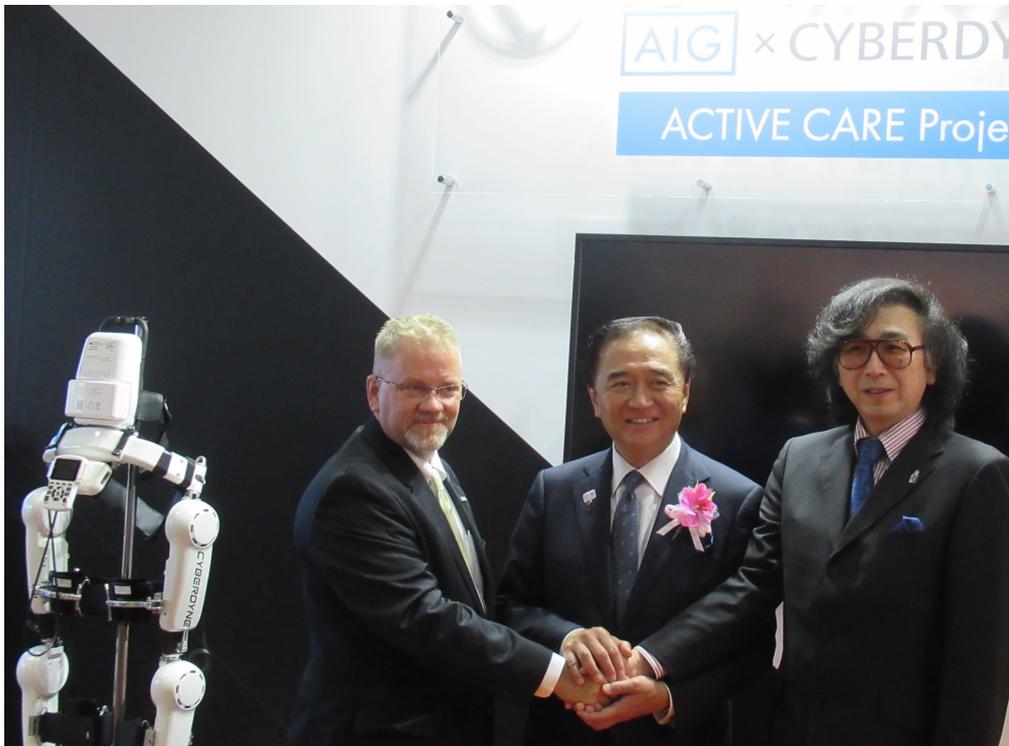
本プログラムは、事故の後遺症などで自立歩行が困難な子どもたちに歩行機能向上への意欲増進のための新たな機会を提供することを目的としています。HAL®は装着者の脳から筋肉へ送られる信号を“生体電位信号”として読み取ることで、装着者の意思に従った歩行動作を実現します。これを繰り返すことによって身体そのものの機能向上が促されることが期待されます。

AIG ジャパンが掲げている『ACTIVE CARE』※の事業コンセプトと、神奈川県が取り組んでいる「未病の改善」と「最先端医療・最新技術の追求」という大きな2つのテーマ、加えて、本プログラムの実施施設となる、当社が子会社として運営する「湘南ロボケアセンター株式会社」（住所：神奈川県藤沢市辻堂）の立地などを鑑みて、本プログラムでは神奈川県内の児童・生徒を対象とすることになりました。

2017年10月11日から2018年3月までを募集期間として、神奈川県内に在住もしくは県内の小・中・高校に通う「外傷性脊髄損傷（不全麻痺）」に伴う下半身機能障害を負った児童・生徒（6歳から18歳）で要件を満たす方から先着50名にHAL®による歩行体験、動作支援プログラムを1名あたり最大10回分無償で提供いたします。応募要項は別紙をご参照ください。

※『ACTIVE CARE』とは、AIG が誇る世界中で蓄積した知見や、リスクの認識および軽減につながる最新のテクノロジーを活用し、日常に潜むリスクを的確に把握し、そのリスクに備えるための支援を提供す

るものです。保険を提供する企業として、起きてしまった出来事への経済的な補償だけでなく、そもそも事故が起こらないようにリスクを最小化する予防的サービスを、目に見える分かりやすい形で積極的に提供し、保険をより身近なものへと変えていくことを目指します。



左から、ノディン AIG ジャパン社長、黒岩神奈川県知事、山海社長

< CYBERDYNE 株式会社について >

CYBERDYNE 株式会社は、2004 年に筑波大学発ベンチャーとして設立されて以来、サイバニクス技術 (*) を活用した革新的サイバニクスシステム (サイバニクスデバイス、サイバニクスインタフェースなど) により、社会が直面する様々な課題を解決することを目指し、研究開発から社会実装に至るまで一貫して推進しています。医療、福祉、生活 (職場環境を含む) 分野での事業推進を行い、主力製品のロボットスーツ HAL® は、医療・福祉の分野のみならず、介護や重作業分野等にも幅広く展開されています。また、人工知能・環境認知機能を搭載した搬送ロボット・清掃ロボット、腰部負荷を低減する HAL® 腰タイプ、小型の単関節 HAL®、動脈硬化度・不整脈計測用バイタルセンサーなど、次々と新製品開発を進めています。詳細については、<http://www.cyberdyne.jp/> をご参照ください。

(*) サイバニクス技術：サイバネティクス、メカトロニクス、インフォマティクスを中心に、脳・神経科学、IT(情報技術)、ロボット工学、心理学、法学、倫理、経営などを融合複合した新しい学術領域で、筑波大学山海嘉之教授 (CYBERDYNE 株式会社代表取締役社長) が創成。



< AIG について >

AIG グループは、世界の保険業界のリーダーであり、80 以上の国や地域で顧客にサービスを提供しています。1919 年に創業し、現在では、損害保険、生命保険、退職給付およびその他の金融サービスを幅広く提供しています。AIG グループの商品・サービスを通じた多岐にわたるサポートは、法人および個人のお客様の資産を守り、リスクマネジメントおよび確かなリタイアメント・セキュリティをお届けします。持株会社 AIG, Inc.はニューヨークおよび東京の各証券取引所に上場しています。

日本では、AIU 損害保険株式会社、富士火災海上保険株式会社、アメリカンホーム 医療・損害保険株式会社、ジェイアイ傷害火災保険株式会社、AIG 富士インシュアランスサービス株式会社、テックマークジャパン株式会社などが事業を展開しています。

詳細については、www.aig.co.jp をご参照ください。

本件に関する報道機関からのお問い合わせ先
プロジェクト広報担当(IFC)
竹江・神谷・上野 Tel: 03-5532-8921
CYBERDYNE 株式会社
広報/IR 担当 TEL:029-869-9981

『神奈川県内の脊損受傷小中高生を対象とした、 ロボットスーツ HAL®による歩行機能向上促進プログラム』

応募要項

概 要

湘南ロボケアセンターにおける初回カウンセリング料金、および、HAL®を用いた最先端トレーニング HALFIT®の使用料（1人につき10回分）をAIGジャパンが拠出し、社会貢献の一環として、湘南ロボケアセンターにおいて歩行機能向上促進プログラムを提供いたします。

対 象 者

神奈川県に在住、もしくは県内の小・中・高校に通う、「外傷性脊髄損傷（不全麻痺）」に伴う下半身機能障害を負った児童・生徒（6-18歳）、かつ、下記要件を満たす方から、先着50名を対象といたします。

- ① 介助のもと立位姿勢を保てる方
- ② 1人で座位姿勢を保てる方
- ③ HAL®下肢用の適用サイズ（体重80kg以下、身長145~185cm程度）の方
- ④ 著しい関節障害のない方
- ⑤ 動作の手順や注意点などの説明をご理解いただける方

※ 個別の身体状態により適用不可の場合もございます。

※ 著しい高血圧や骨の脆弱性、心不全などの症状がある方はあらかじめ医師にご相談ください。

※ 妊娠中の方、およびペースメーカーなどの能動埋め込み医療機器をご使用のお客様はHAL®下肢用の装着をご遠慮いただいております。また、お客様の健康状態によりましては、湘南ロボケアセンター専門スタッフの判断により装着をご遠慮いただく場合がございます。

応募手続き

応募方法：上記の要件を満たす児童・生徒の**保護者**の方から湘南ロボケアセンターに電話にて申込み

申込および問い合わせ窓口： 湘南ロボケアセンター 電話 0466(30) 2360（平日 9:00-18:00）

応募およびプログラム実施スケジュール

平成29年10月11日	応募開始
平成29年10月11日～30年3月	体験希望者募集期間
平成29年11月～30年9月	プログラム実施期間

歩行機能向上促進プログラム

当歩行体験プログラムではロボットスーツ HAL®を装着し下記のようなトレーニングを実施します。

- ・膝の曲げ伸ばし ・立ち座りやバランス練習 ・歩行器などを用いた歩行練習
- ・免荷装置を利用した歩行練習 ・フィットネストレーニング

ロボットスーツ HAL®を用いたトレーニング「HALFIT®（ハルフィット）」の専門トレーナーがお客様個人向けのトレーニングメニューを組みます。これまで培ってきた HALFIT®プログラムに、専門的なトレーニングを加えることで、ロボットスーツと一体的に楽しく安全に運動を行い、車いす等を使わない歩行にチャレンジしていきます。

※ 湘南ロボケアセンターまでの交通費は自費負担となります。

※ トレーニングの結果には個人差があります。予めご了承ください。

プログラム実施施設：湘南ロボケアセンター

0466(30) 2360（平日 9:00-18:00）

神奈川県藤沢市辻堂神台 2-2-1 アイクロス湘南 4階

東海道線辻堂駅徒歩 4分

<http://www.robocare.jp/shonan/>

以上